



「話しことば」から「書きことば」への移行期 にある子どもの支援

常葉大学 赤塚めぐみ
森下未奈子

読み書き学習移行期の課題

10の姿「文字等への関心・感覚」について、
行動観察による評価に限界がある

ひらがな1文字の読み書きは、必ずしも
単語の読み書きに直結しない

ひらがな単語の音読が改善しても、
漢字の読み困難が生じ、その困難は継続する

子どもにとって学習困難の長い道のりが、実は就学前から始まっている

Springの成果① 達成の順序

- ✓ 3桁の数の復唱
- ✓ 3文字から成る非単語の復唱

✓ 生活に身近な言葉を理解できる

- ✓ 単語を一音ずつに分解できる
- ✓ 単語の音を取り出すことができる
- ✓ ひらがなが10文字読める

✓ ひらがなが20文字読める

話しことば

➤ 単語から特定の音を消すことができる

書きことば

「音韻削除」が習得されると…

- ◆ひらがな単語の意味を把握できるようになる(大六, 1995)。
- ◆ひらがな単文の読解ができるようになる(原, 2001)。

「文字には伝える役割がある(幼稚園教育要領)」ことを重視するならば、教科書学習に先立ち、2～3文字単語の「音韻削除」の達成が重要。

これこそが、文字への感覚の育ちなのでは？

Springの成果② 音韻削除の育ちとあそびの効果

単語から音の取り出しができる



順調

単語から音を取り出せない



難しすぎる

あと一歩



単語から特定の音を消すことができる
(音韻削除)



単語の音を消せない
(音韻削除)

育ちの階段を小さくする工夫

- ✓ 3桁の数の復唱
- ✓ 3文字から成る非単語の復唱

- ✓ 生活に身近な言葉を理解できる

- ✓ 単語を一音ずつに分解できる
- ✓ 単語の音を取り出すことができる
- ✓ ひらがなが10文字読める

- ✓ ひらがなが20文字読める

ひとつひとつの階段
を小さくして、
子どもが
「自分でできた！」と
感じられること